

1. 自転車の利用環境

調査結果の概要

テーマ	自転車の利用環境
担当課	建設局 サイクルシティ推進部 自転車企画推進課・自転車環境整備課・自転車対策事務所
設問数	15 問
趣旨・目的	本市では、本市が有する自転車の歴史・文化を踏まえつつ、市民が自転車に愛着を持ち、本市を訪れる人にも自転車を活用した「サイクルシティ堺」の実現をめざして取組を進めています。調査結果は、堺と自転車との歴史文化の発信強化、自転車利用の利便性向上、広域的な通行環境の整備に向けて活用したいと考えています。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る担当課の所見	<ul style="list-style-type: none">・問 1 では、本市の自転車産業のルーツが百舌鳥古墳群にあることについて、「知っている」と回答した方が令和 5 年度の 33.1%から 26.9%に減少しており、情報発信に課題があることが分かりました。情報発信を強化していますが、今回の結果を踏まえ、市ホームページや SNS に加え、「大和川リバーサイドサイクルライン完成記念イベント」や新規に制作したロゴマークを活用することで、「サイクルシティ堺」として認知度の更なる向上を図ります。・問 4 では、自転車ヘルメット着用率について令和 5 年度の 3.7%から 8.7%に増加したものの、自転車を利用する際にヘルメットを着用している人が少ない結果となりました。自転車ヘルメット着用率向上のため、警察と連携した新たな講習会等を実施します。・問 11 では、原則車道通行であることを知っているが、問 10 の結果から車道を通行する方の割合は令和 5 年度から増加し、約 5 割となりましたが、今も約 3 割が車道を通行しないことが分かりました。 また、問 12 では、自転車通行空間の整備を推進すべきであると回答した方は令和 5 年度の 72.4%から 78.6%に増加しました。引き続き、自転車は原則車道通行であり、歩道通行は例外であるという観点に基づき、自転車通行環境の整備を推進します。・問 14 では、駅周辺の駐輪場が充足していないと回答した方が令和 5 年度に比べて増加しており、実際に一部の駐輪場では定期利用の順番待ちや一時利用が満車で利用できないところもあることから、需給バランスを踏まえた適切な駐輪場環境を確保します。

(1) 都市魅力

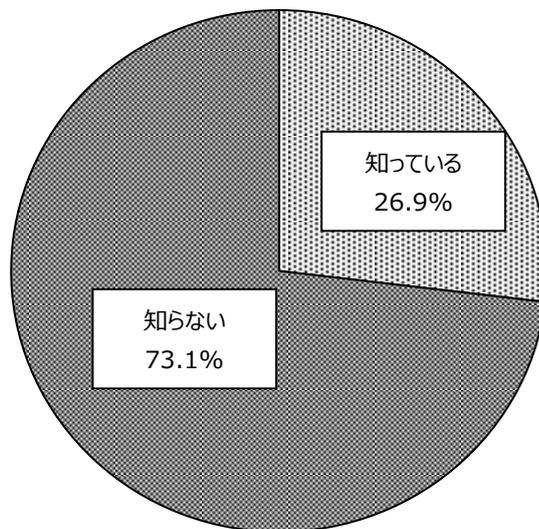
問1. 本市の自転車産業のルーツは古墳時代にあることを知っていますか。

※百舌鳥古墳群の築造で培われた鉄の加工技術が鉄砲、刃物へと伝わり自転車産業へと受け継がれています。

【1つ選択】

「知っている」と回答した方は26.9%であり、令和5年度の33.1%から減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	126	26.9%
2	知らない	342	73.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(2) 利用促進

問 2. 自転車をどのような目的で利用していますか。

【複数選択可：いくつでも】

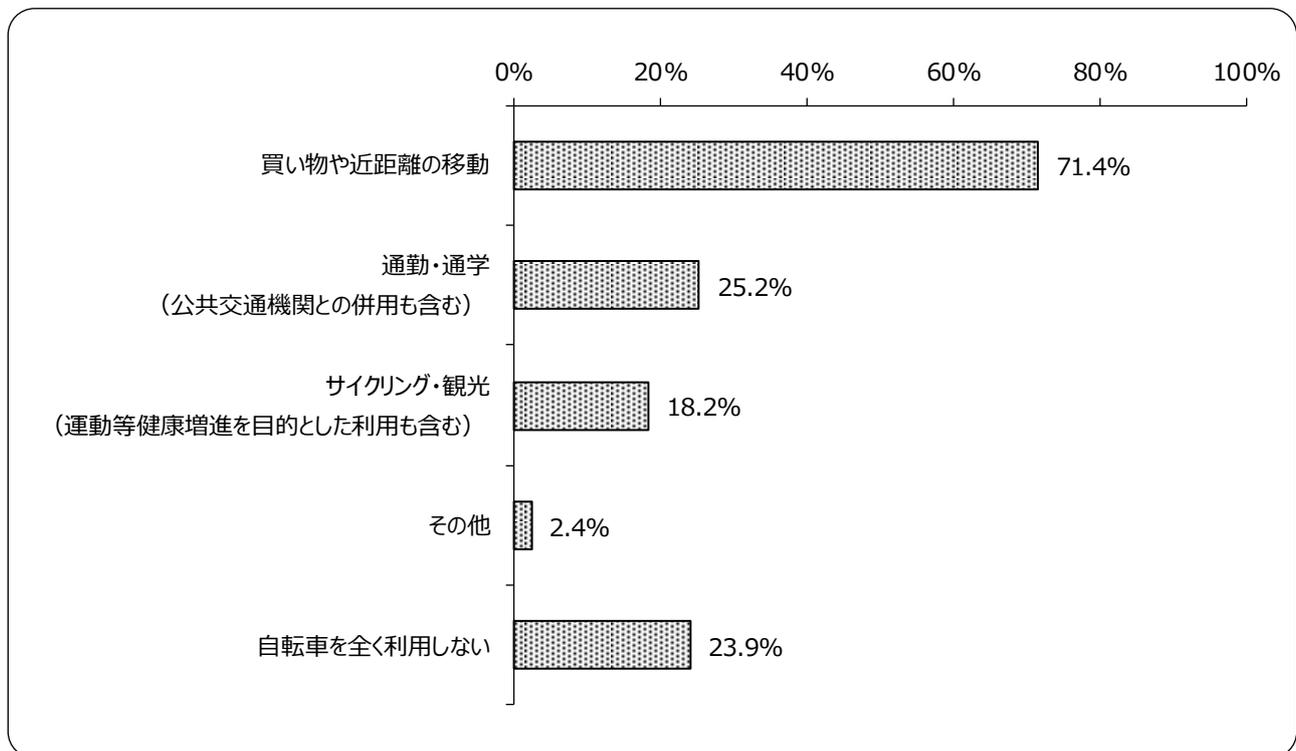
「サイクリング・観光（運動等健康増進を目的とした利用も含む）」と回答した方は 18.2%であり、令和 5 年度の 15.9%から増加した。また「買い物や近距離の移動」と回答した方は令和 5 年度と同様に最も多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	買い物や近距離の移動	334	71.4%
2	通勤・通学（公共交通機関との併用も含む）	118	25.2%
3	サイクリング・観光（運動等健康増進を目的とした利用も含む）	85	18.2%
4	その他	11	2.4%
5	自転車を全く利用しない	112	23.9%

[4 その他]

【主な回答】

- こどもの送迎・業務中の利用
- 習い事の送迎
- 必要時のみ

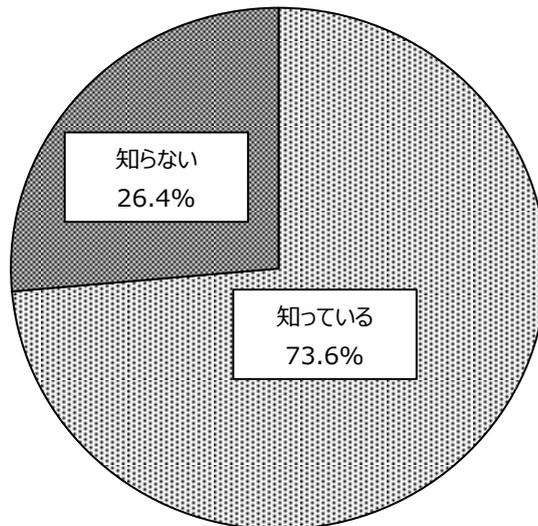


問 3. 問 2 で 1 から 4 のいずれかを選択された方に伺います。

大阪府内で自転車を利用する場合、自転車利用者は自転車損害賠償保険の加入が義務化されていることを
知っていますか。 【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は約 7 割を占めた。

	選択項目 (n=356)	回答数	構成比
1	知っている	262	73.6%
2	知らない	94	26.4%
	計 (回答総数)	356	100.0%

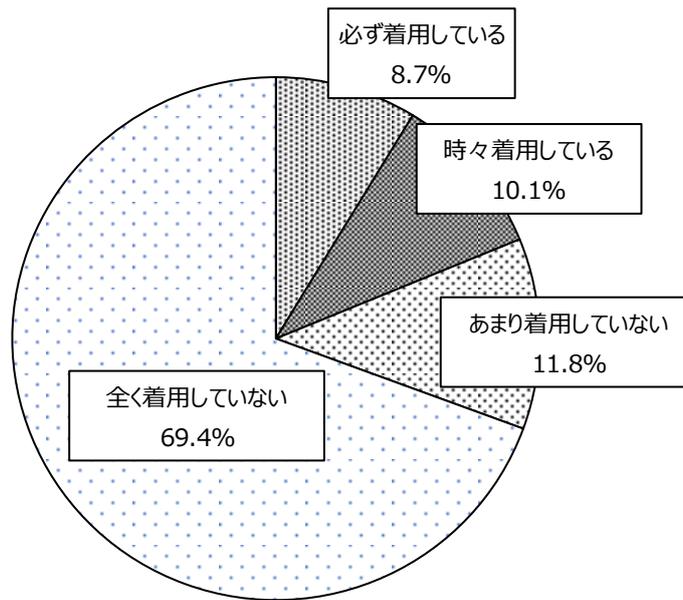


問 4. 問 2 で 1 から 4 のいずれかを選択された方に伺います。
自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。

【1つ選択】

「必ず着用している」と回答した方は 8.7%であり、令和 5 年度の 3.7%から増加した。

	選択項目 (n=356)	回答数	構成比
1	必ず着用している	31	8.7%
2	時々着用している	36	10.1%
3	あまり着用していない	42	11.8%
4	全く着用していない	247	69.4%
	計 (回答総数)	356	100.0%

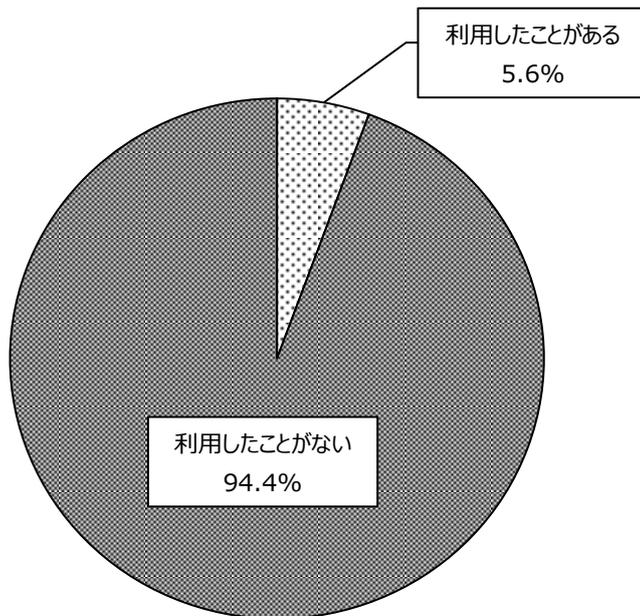


問 5. 堺市シェアサイクル[※]を利用したことがありますか。

※スマートフォンを活用し、利用者がどこのポート（自転車の貸出・返却拠点）でも貸出・返却できる便利な自転車シェアサイクルシステムです。 **【1つ選択】**

「利用したことがある」と回答した方は 5.6% であり、令和 5 年度の 4.0% から増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	利用したことがある	26	5.6%
2	利用したことがない	442	94.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%

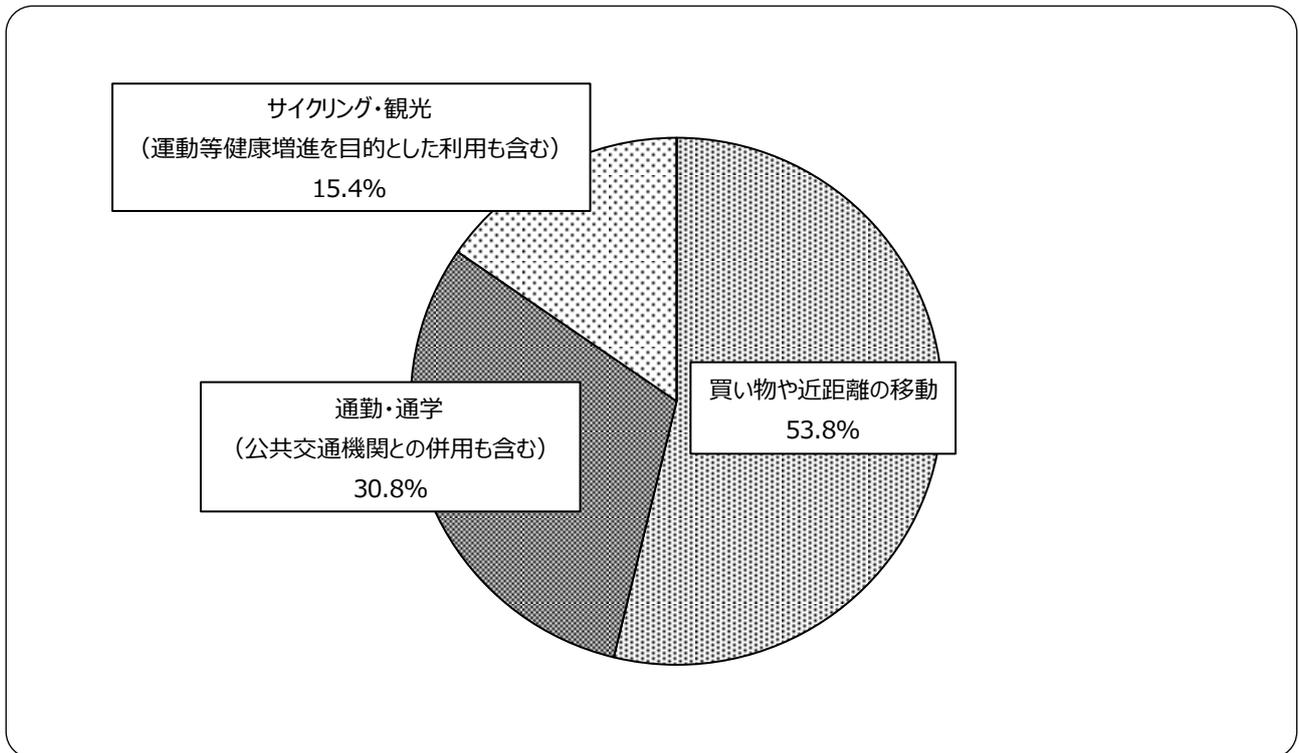


問 6. 問 5 で「1 利用したことがある」と回答された方に伺います。
シェアサイクルをどのような目的で利用していますか。

【1 つ選択】

「買い物や近距離の移動」を目的に利用している方が半数を占めた。

	選択項目 (n=26)	回答数	構成比
1	買い物や近距離の移動	14	53.8%
2	通勤・通学 (公共交通機関との併用も含む)	8	30.8%
3	サイクリング・観光 (運動等健康増進を目的とした利用も)	4	15.4%
4	その他	0	0.0%
	計 (回答総数)	26	100.0%



問 7. 問 5 で「2 利用したことがない」と回答された方に伺います。

どのようにすればシェアサイクルを利用したいと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

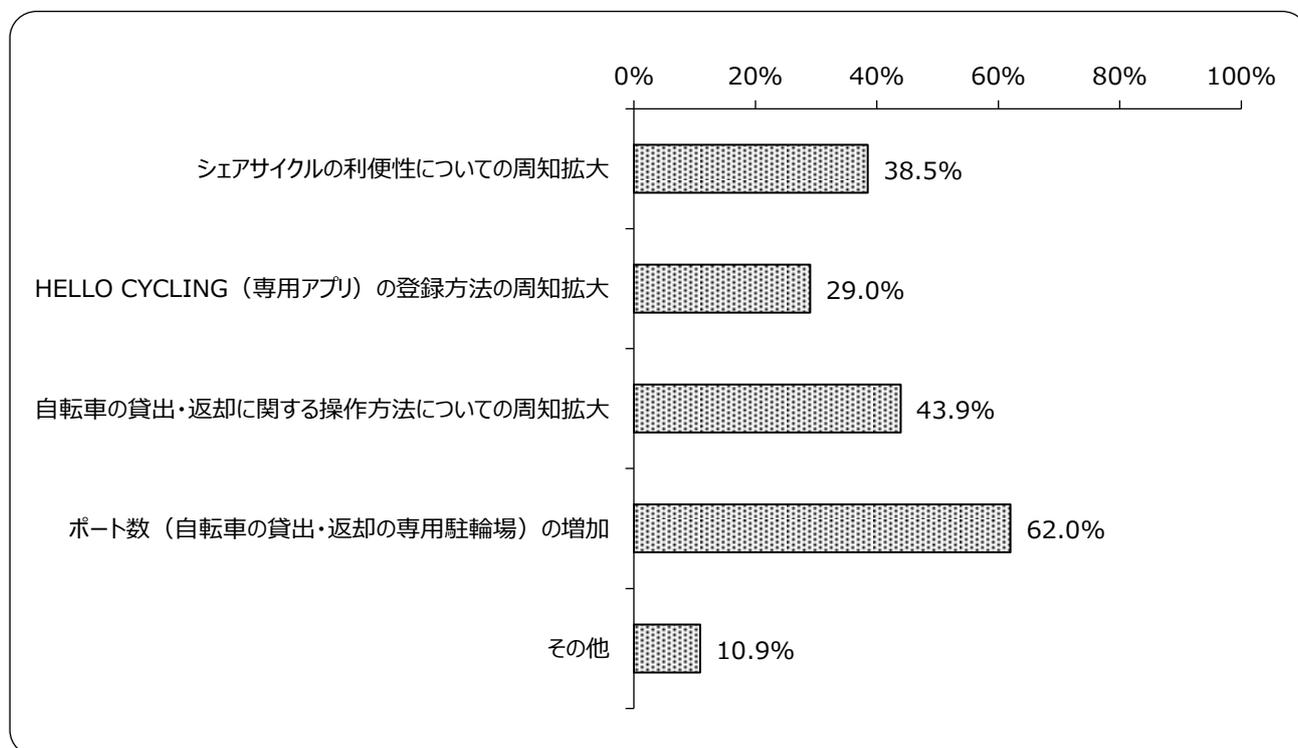
「ポート数（自転車の貸出・返却の専用駐輪場）の増加」と回答した方が半数以上であった。

	選択項目 (n=442)	回答数	回答数/n
1	シェアサイクルの利便性についての周知拡大	170	38.5%
2	HELLO CYCLING（専用アプリ）の登録方法の周知拡大	128	29.0%
3	自転車の貸出・返却に関する操作方法についての周知拡大	194	43.9%
4	ポート数（自転車の貸出・返却の専用駐輪場）の増加	274	62.0%
5	その他	48	10.9%

[5 その他]

【主な回答】

- 格安な料金体系
- こども乗せ自転車があれば良い
- スマートフォン以外でも利用できれば良い
- より利便性の高い位置にあるポート



(3) 安全利用

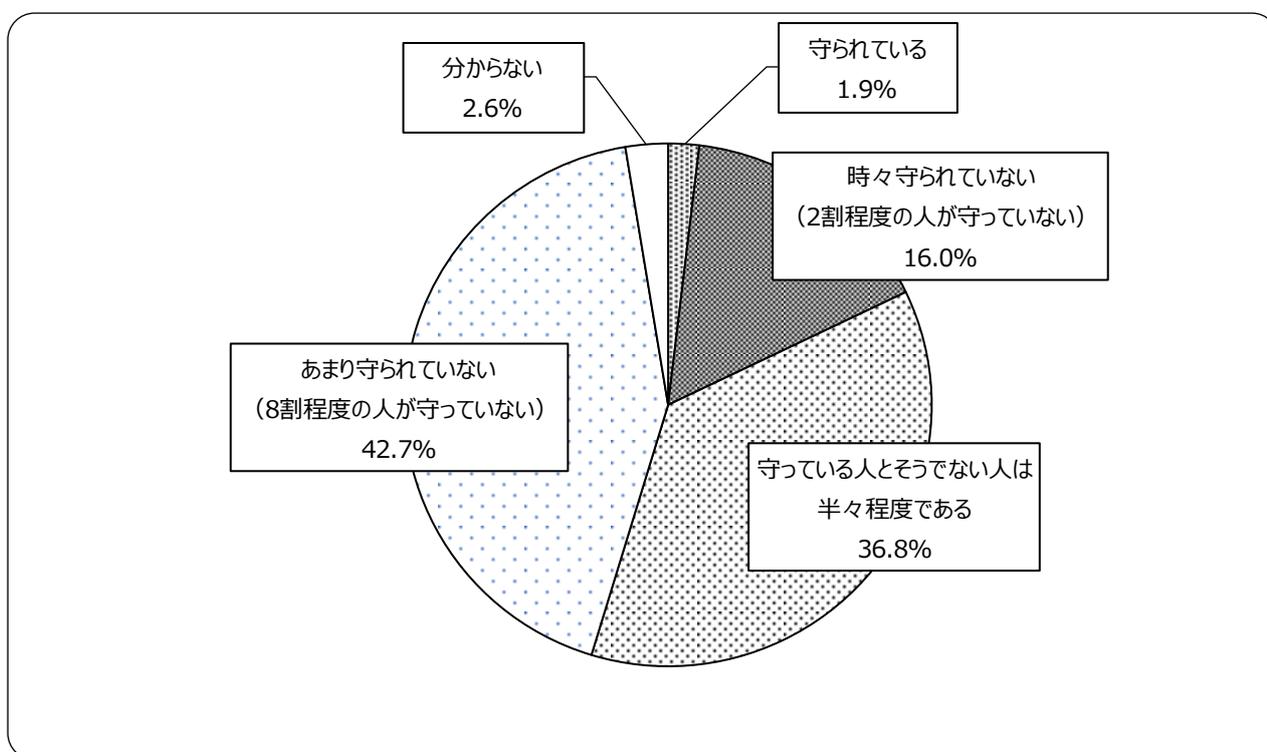
問 8. 日常生活において、見て感じる自転車の交通ルールについて伺います。

自転車乗車中の交通ルールが守られていると思いますか。

【1つ選択】

「守られている」「時々守られていない（2割程度の人が守っていない）」の合計は17.9%であり、「守っている人とそうでない人は半々程度である」「あまり守られていない（8割程度の人が守っていない）」の合計79.5%を大きく下回った。令和5年度はそれぞれの合計が22.9%、74.1%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	守られている	9	1.9%
2	時々守られていない（2割程度の人が守っていない）	75	16.0%
3	守っている人とそうでない人は半々程度である	172	36.8%
4	あまり守られていない（8割程度の人が守っていない）	200	42.7%
5	分からない	12	2.6%
	計（回答総数）	468	100.0%



問 9. 問 8 で 2 から 4 のいずれかを選択された方に伺います。

自転車乗車中に守られていない交通ルールは具体的にどのようなものですか。 【複数選択可：いくつでも】

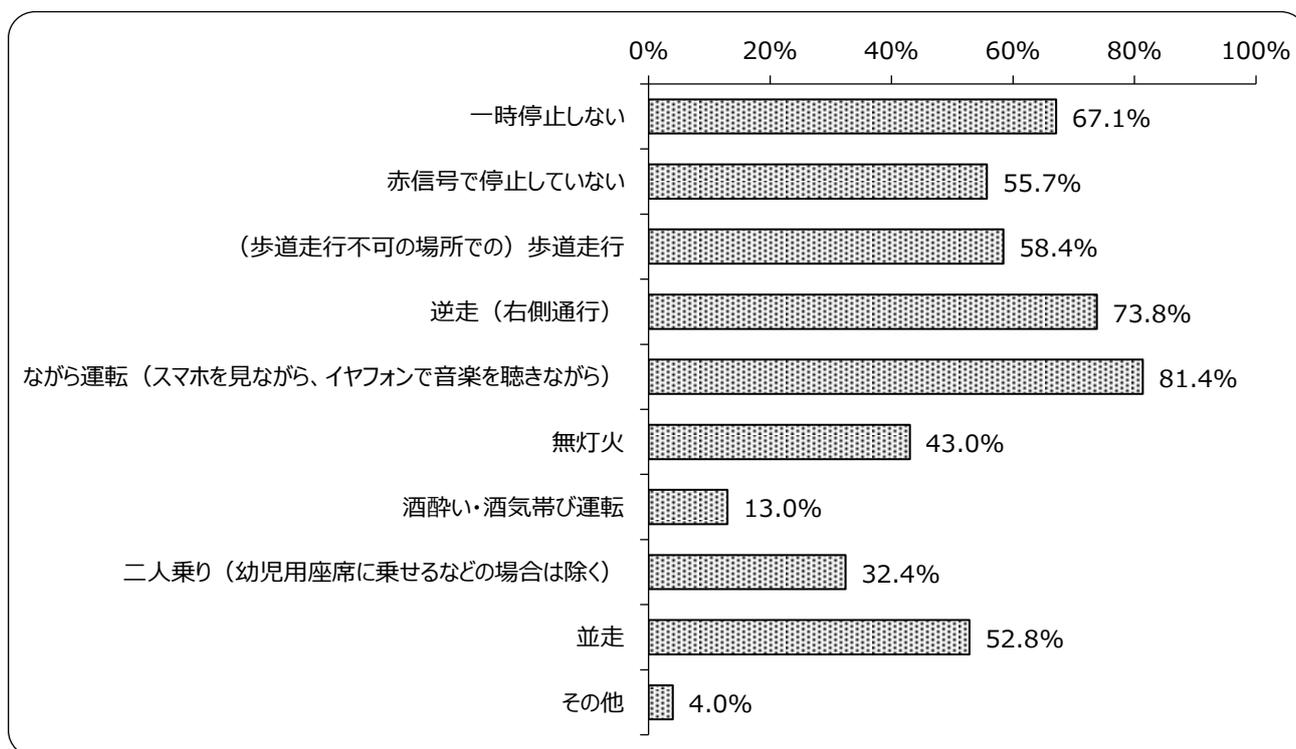
「一時停止しない」「赤信号で停止していない」「（歩道走行不可の場所での）歩道走行」「逆走（右側通行）」「ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽を聴きながら）」「並走」と回答した方は半数以上だった。

	選択項目 (n=447)	回答数	回答数/n
1	一時停止しない	300	67.1%
2	赤信号で停止していない	249	55.7%
3	（歩道走行不可の場所での）歩道走行	261	58.4%
4	逆走（右側通行）	330	73.8%
5	ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽を聴きながら）	364	81.4%
6	無灯火	192	43.0%
7	酒酔い・酒気帯び運転	58	13.0%
8	二人乗り（幼児用座席に乗せるなどの場合は除く）	145	32.4%
9	並走	236	52.8%
10	その他	18	4.0%

[10 その他]

【主な回答】

- スピードの出しすぎ
- ヘルメットの未着用
- タバコを吸いながら走行



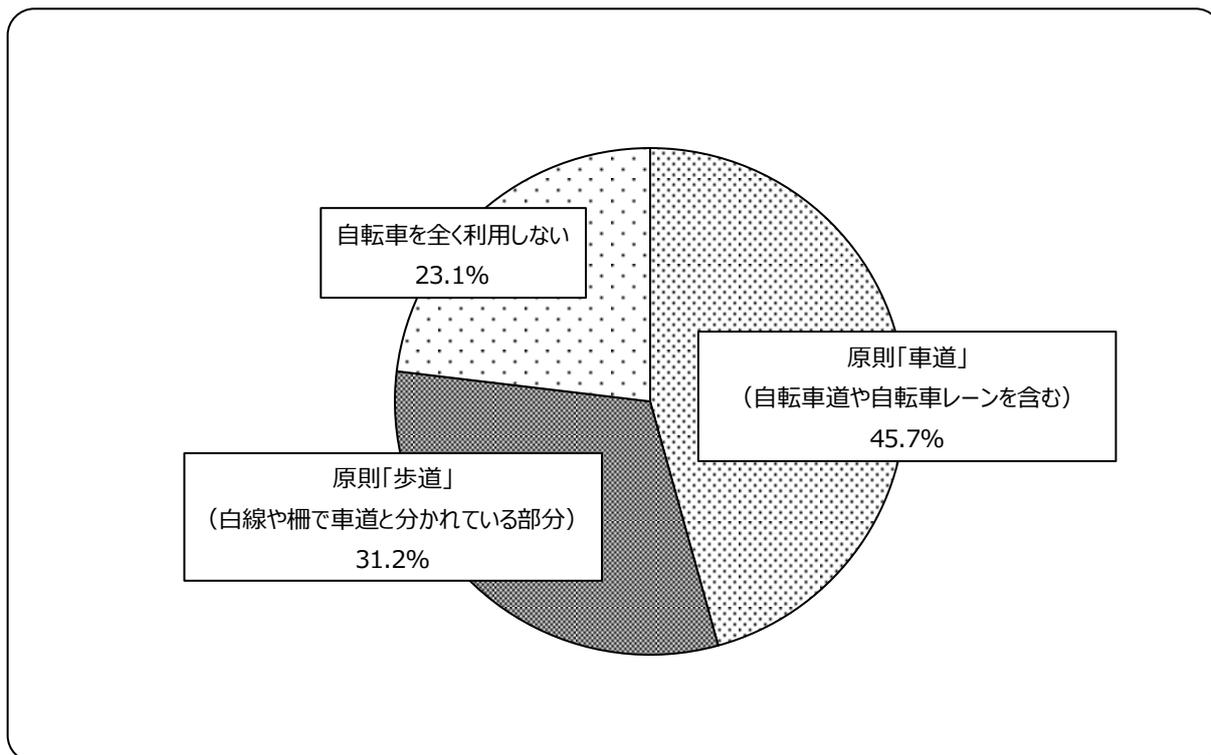
(4) 自転車通行環境

問 10. 自転車で主にどこを通行していますか。

【1つ選択】

「原則「車道」(自転車道や自転車レーンを含む)」と回答した方は約 5 割であり、令和 5 年度の約 4 割から増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	原則「車道」(自転車道や自転車レーンを含む)	214	45.7%
2	原則「歩道」(白線や柵で車道と分かれている部分)	146	31.2%
3	自転車を全く利用しない	108	23.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 11. 問 10 で「1 原則「車道」」「2 原則「歩道」」と回答された方に伺います。

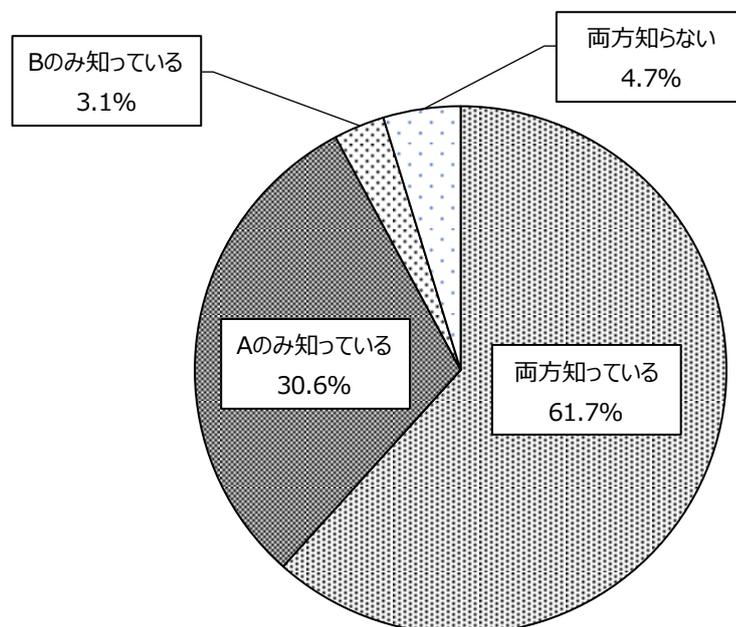
次の 2 つのルールを知っていますか。

A. 自転車は、原則、車道を通行しなければならない。

B. 自転車は、例外的に歩道を通行する際は、車道寄りを徐行し、歩行者の通行を妨げることとなる場合は、一時停止しなければならない。 【1 つ選択】

原則車道通行であることを知っている（「両方知っている」「Aのみ知っている」「Bのみ知っている」）と回答した方は約 9 割を占めた。

	選択項目 (n=360)	回答数	構成比
1	両方知っている	222	61.7%
2	Aのみ知っている	110	30.6%
3	Bのみ知っている	11	3.1%
4	両方知らない	17	4.7%
	計 (回答総数)	360	100.0%

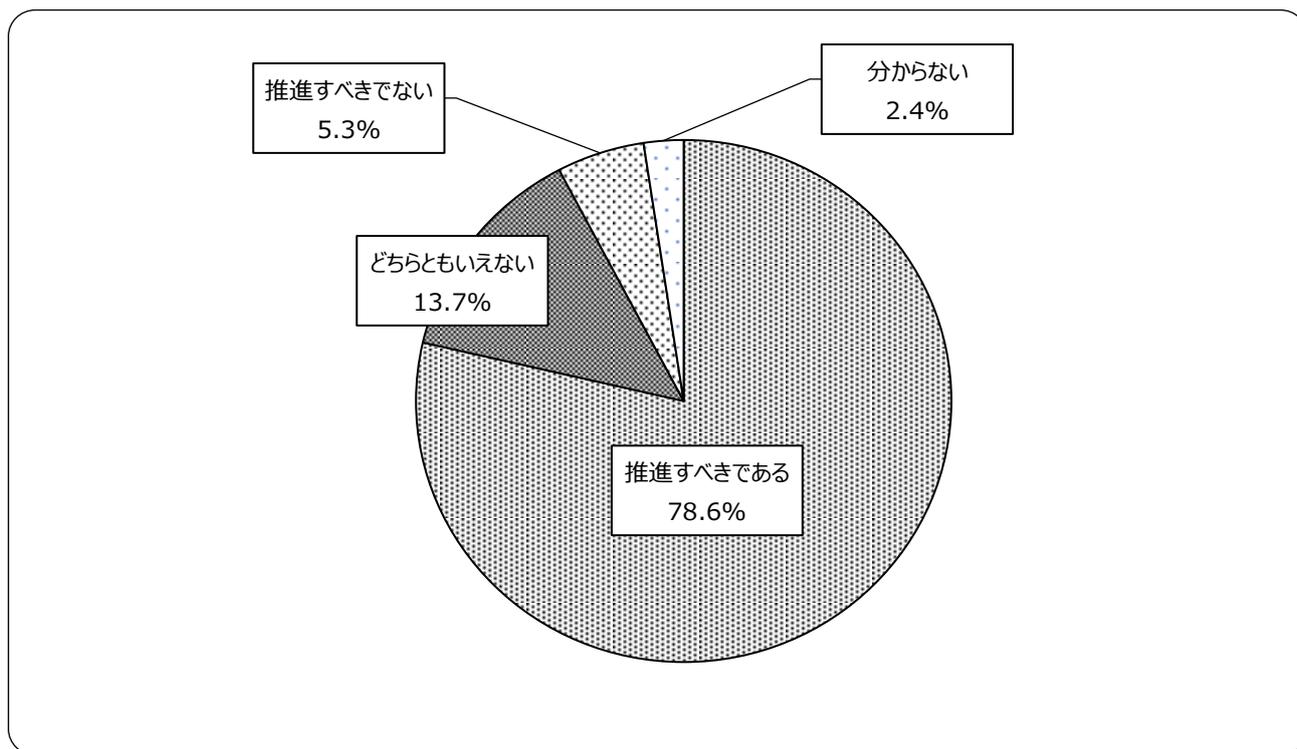


問 12. 今後も自転車道や自転車レーン等の自転車通行空間の整備をすることについてどうお考えですか。

【1 つ選択】

「推進すべきである」と回答した方は 78.6%であり、令和 5 年度の 72.4%から増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	推進すべきである	368	78.6%
2	どちらともいえない	64	13.7%
3	推進すべきでない	25	5.3%
4	分からない	11	2.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%

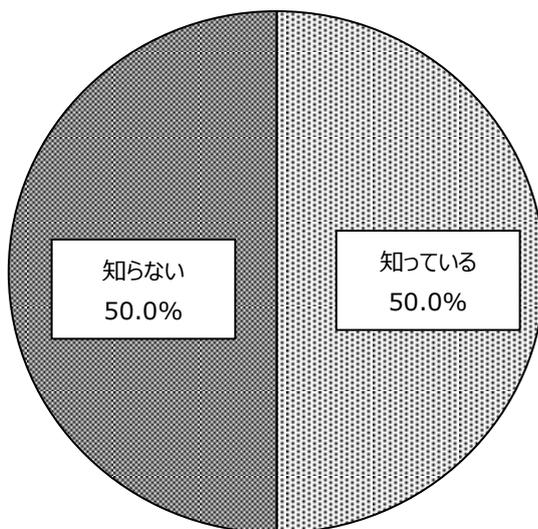


(5) 駐輪環境

問 13. 市内の鉄道駅周辺（おおむね半径 300m 以内の道路その他公共の場所）が自転車等放置禁止区域に指定されていることを知っていますか。 【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は 50%であり、令和 5 年度の 48.0%から僅かに増加した。

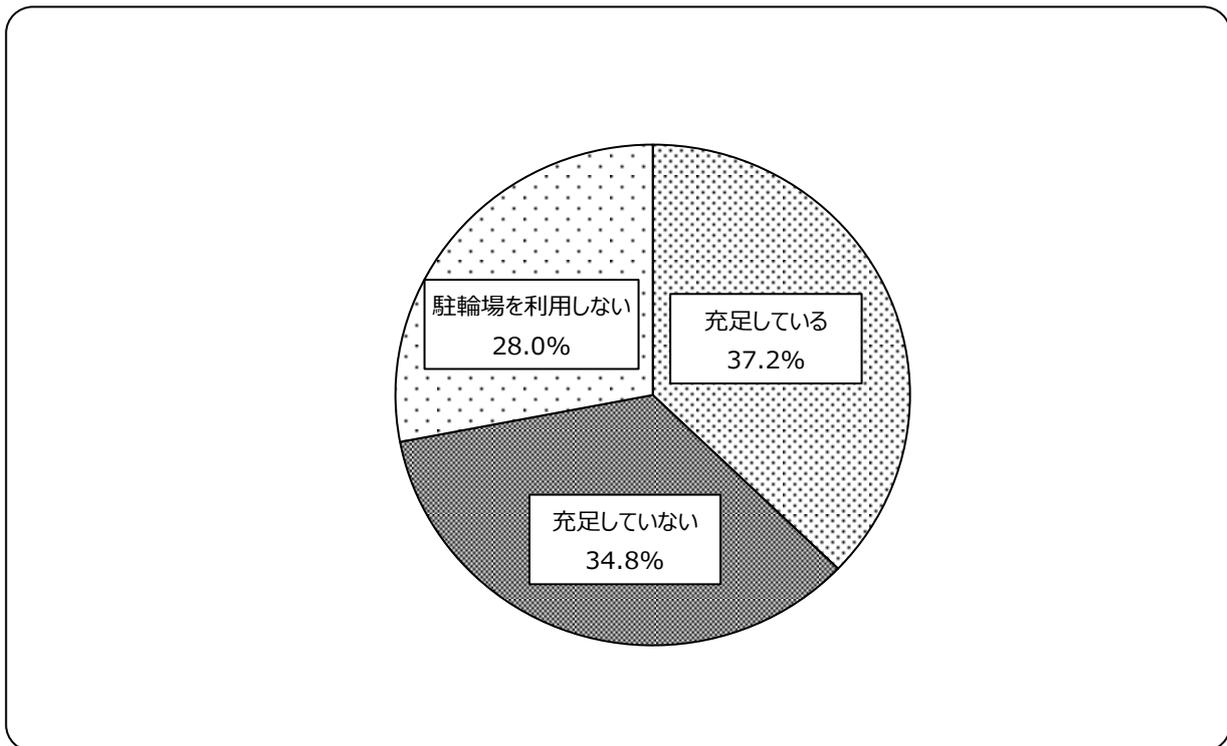
	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	234	50.0%
2	知らない	234	50.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 14. 普段ご利用されている市内の最寄り駅周辺の駐輪場は充足していると感じますか。**【1つ選択】**

「充足している」と回答した方は 37.2%であり、令和 5 年度の 36.9%とほぼ同様であったが、「充足していない」と回答した方は 34.8%で、令和 5 年度の 31.4%から増加した。駐輪場を利用しない人の割合は令和 5 年度の 31.6%から 28.0%に減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	充足している	174	37.2%
2	充足していない	163	34.8%
3	駐輪場を利用しない	131	28.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 15. 市内の駐輪場で希望するサービスはありますか。

【複数選択可：いくつでも】

「短時間（1～2 時間程度）無料駐輪場の設置」と回答した方が 71.4%と最も多く、令和 5 年度の 73.2%とほぼ同様であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	利用料金等のキャッシュレス化	195	41.7%
2	定期利用申請のオンライン化	124	26.5%
3	短時間（1～2時間程度）無料駐輪場の設置	334	71.4%
4	有料の点検・パンク修理等の修繕サービス	128	27.4%
5	その他	34	7.3%

[5 その他]

【主な回答】

- 駐輪場の無料化
- 駅に近い駐輪場の増設
- 駐輪スペースの拡大

